

株式会社アズジェント

2009年3月期第2四半期(4月～9月)
決算説明資料



第2四半期(2008年4月～9月)実績

- 売上、利益とも引き続き好調を維持し、最終損益も黒字転換達成
- 第2四半期業績の公表見通しも大きく上回る
- ファイアウォール関連の売上高が堅調な伸びをみせ、利益率も改善
- 営業キャッシュ・フローのプラス分により、有利子負債圧縮

損益計算書(累計)

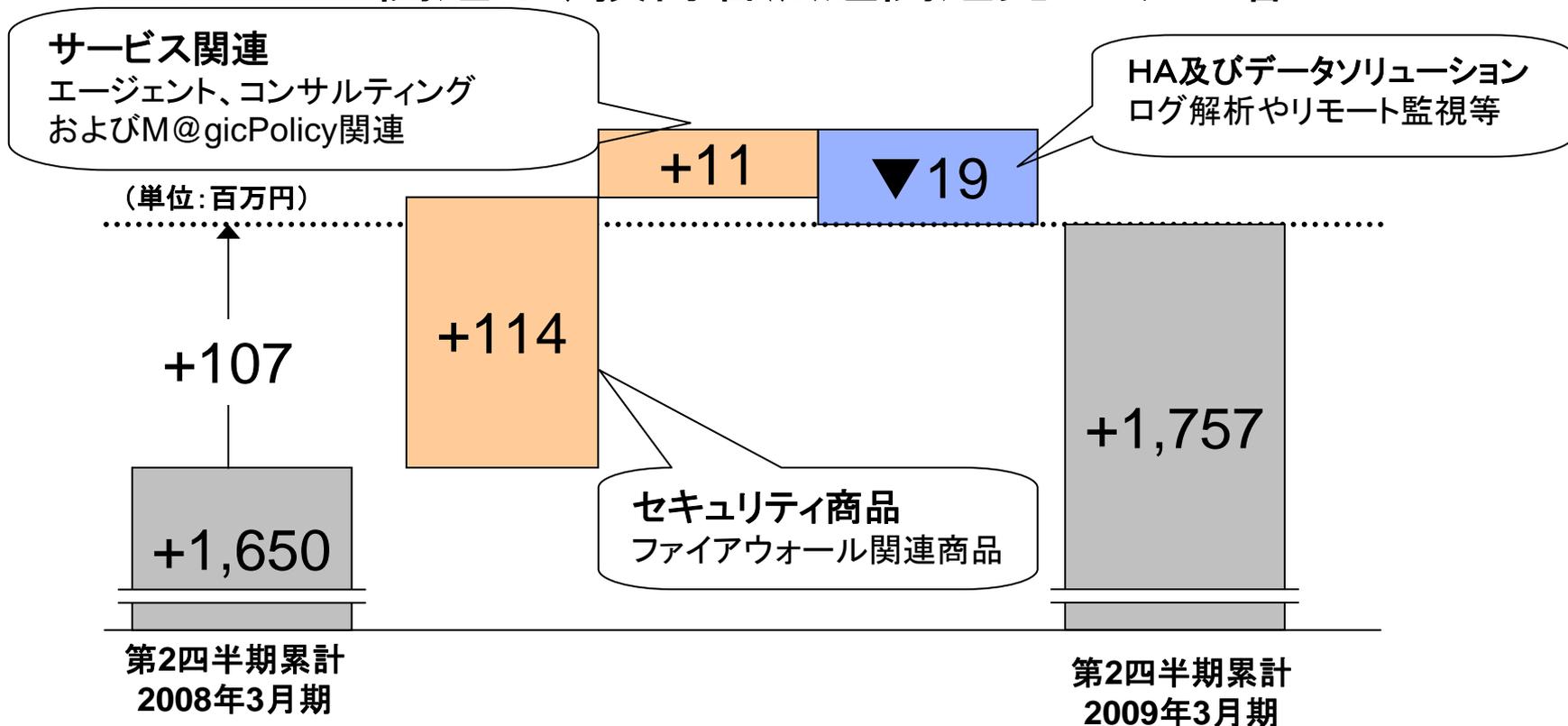
- 売上高 : 前年同期比 107百万円 6.5%増加
- 営業利益 : 前年同期比 81百万円 270.0%増加
- 経常利益 : 前年同期比 82百万円 241.1%増加
- 当期純利益 : 前年同期比 172百万円

(単位:百万円)

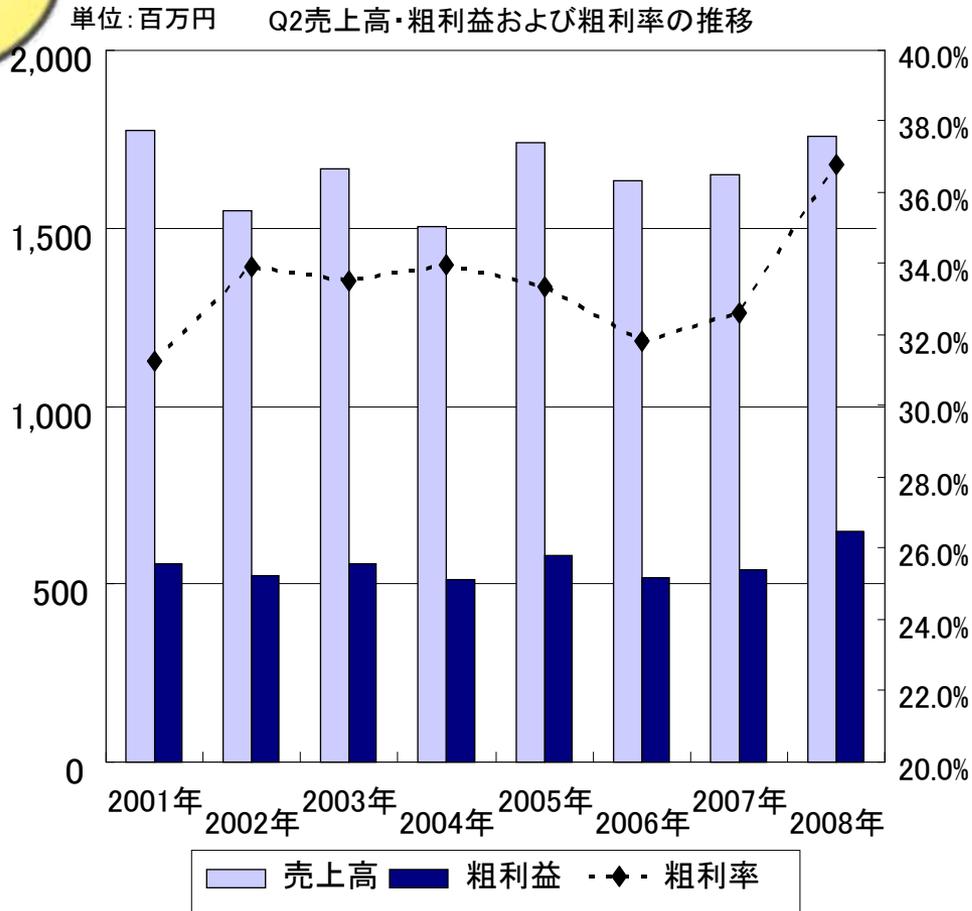
	2008年3月期 第2四半期累計実績 a	2009年3月期 第2四半期累計実績		2009年3月期 第2四半期利益 率
		実績 b	前年比 (増減率) c=b-a (c/a)	
売上高	1,650	1,757	+107(+ 6.5%)	—
売上総利益	538	646	+108(+ 20.0%)	36.7%
営業利益	30	111	+81(+270.0%)	6.3%
経常利益	34	116	+82(+241.1%)	6.6%
当期純利益	△32	140	+172(-)	7.9%

区分別売上高

- セキュリティ商品は、ファイアウォールを中心とする、商品売上と関連保守契約および技術サポート売上が牽引
- サービス関連は、技術者派遣関連売上げが増加



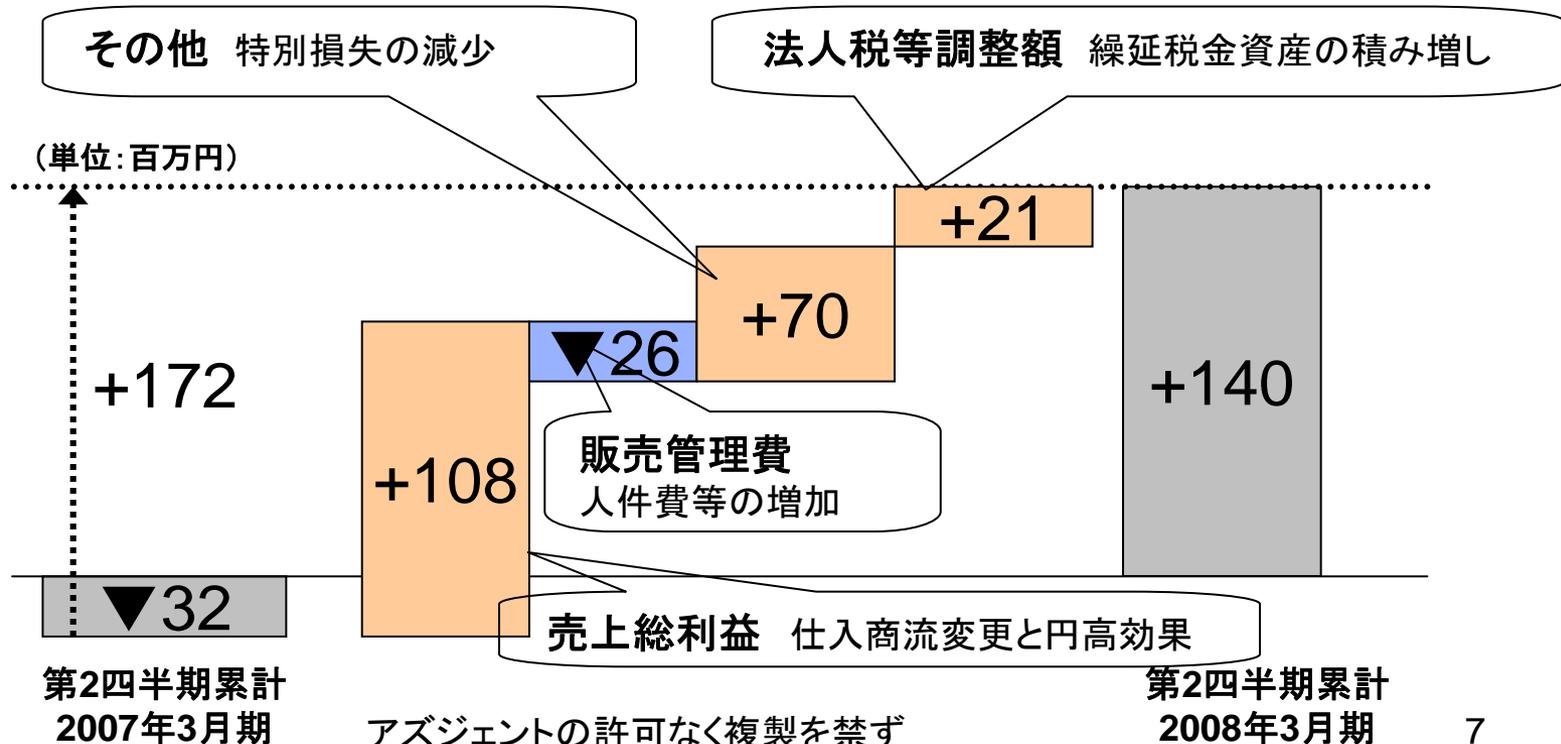
第2四半期累計比較-＜売上粗利＞



- 売上高は過去最高水準
- 粗利高は過去最高を達成
- 粗利率は、円高や仕入商流の変更等により、高水準

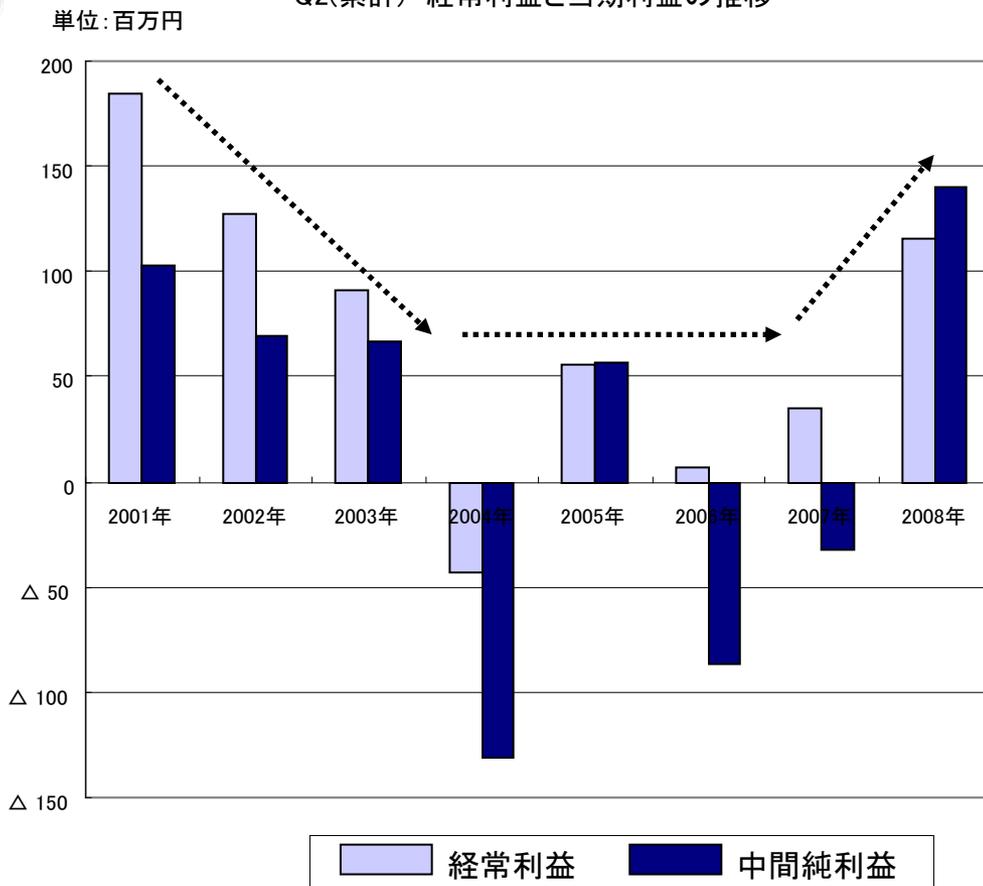
四半期純利益増加の構成

- 売上高の増加、仕入商流変更と、円高効果による利益率の改善により売上総利益が増加
- 特別損失計上については、大きな計上がなかった
- 業績回復基調が鮮明になったことで、繰延税金資産の回収可能性が高まったことにより法人税等調整額発生



第2四半期累計比較-＜利益＞

Q2(累計) 経常利益と当期利益の推移



- 経常利益は高水準
- 当期純利益は、法人税等調整額の発生により、過去最高
- 業績の回復は鮮明

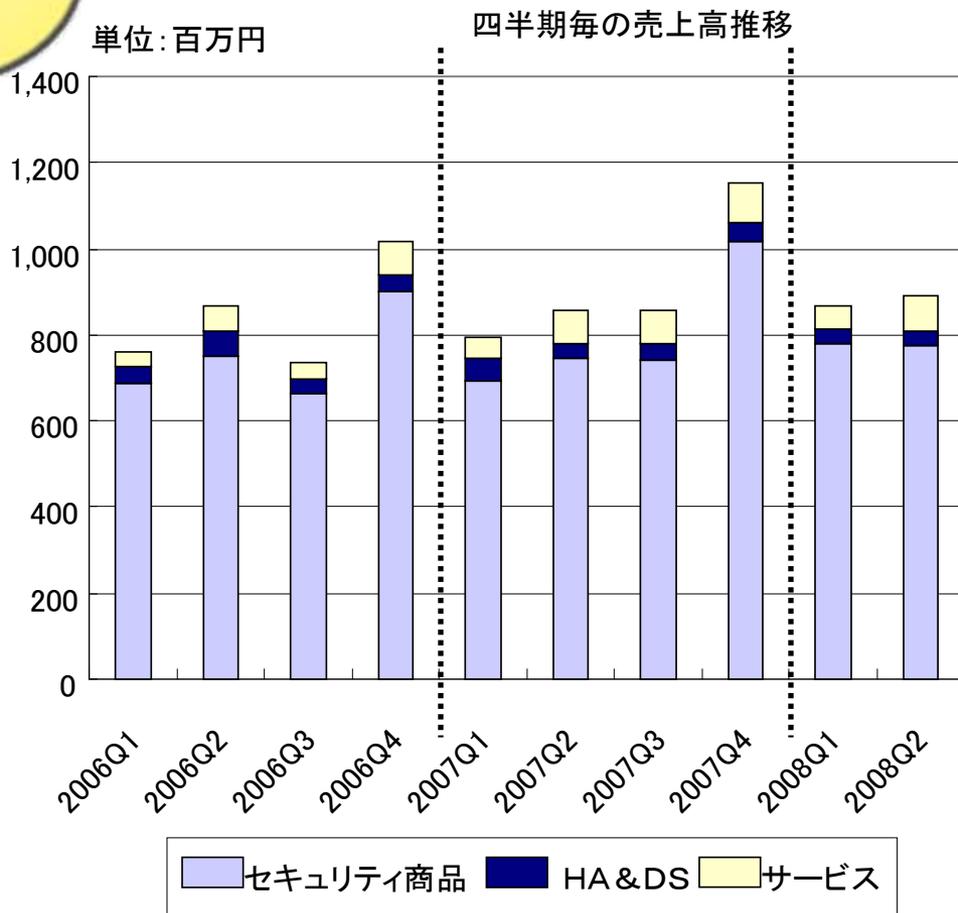
損益計算書(7月-9月)

- 売上高 : 前年比 34百万円 3.9% 増加
- 営業利益 : 前年比 21百万円 91.3% 増加
- 経常利益 : 前年比 25百万円 96.1% 増加
- 当期純利益 : 前年比 78百万円

(単位:百万円)

	2008年3月期 第2四半期実績 a	2009年3月期 第2四半期実績		2009年3月期 第2四半期利益率
		実績 b	前年比 (増減率) c=b-a (c/a)	
売上高	855	889	+34(+3.9%)	—
売上総利益	290	317	+27(+9.3%)	35.6%
営業利益	23	44	+21(+91.3%)	4.9%
経常利益	26	51	+25(+96.1%)	5.7%
当期純利益	△39	39	+78 (-)	4.3%

四半期推移比較-＜売上高＞



- 季節要因を織り込んで堅調な推移
- セキュリティ商品が収益の中心
- Q2はQ1比較でサービス売上が増加

キャッシュ・フロー計算書

- 営業CF: 税引前利益と売上債権減少、仕入債務の減少
- 投資CF: 情報化投資のための固定資産購入
- 財務CF: 短期借入金返済および社債の一部償還

(単位:百万円)

	第2四半期実績 (7月-9月)	2009年3月期 第2四半期累計実績
営業活動によるCF	128	279
投資活動によるCF	△16	△20
財務活動によるCF	△1	△162
現金および現金同等物の換算差額	△4	△3
現金および現金同等物増減額	108	93
現金および現金同等物期末残高	630	630

貸借対照表

- 流動資産：（増加）売掛金と有価証券の増加が要因
- 固定資産：（減少）減価償却＞取得が要因
- 負債：（増加）買掛金の増加が要因
- 純資産：（増加）当期利益が要因 増資等はない

（単位：百万円）

	2008年6月末 第1四半期(構成比)		2008年9月末 第2四半期(構成比)		直前四半期末比
流動資産	1,281	(72.0%)	1,455	(75.8%)	174
固定資産等	498	(28.0%)	463	(24.2%)	△35
資産合計	1,780	(100.0%)	1,918	(100.0%)	138
負債合計	833	(46.8%)	943	(49.1%)	110
純資産合計	947	(53.2%)	975	(50.9%)	28
負債・純資産合計	1,780	(100.0%)	1,918	(100.0%)	138

2009年3月期見通し

FY2008業績見通し修正

- Q2もQ1に引き続き、堅調な業績となり、第2四半期業績見通しは上方修正(2008年10月15日付け)
- 日本の景況感が不透明なため、通期見通しは据え置き

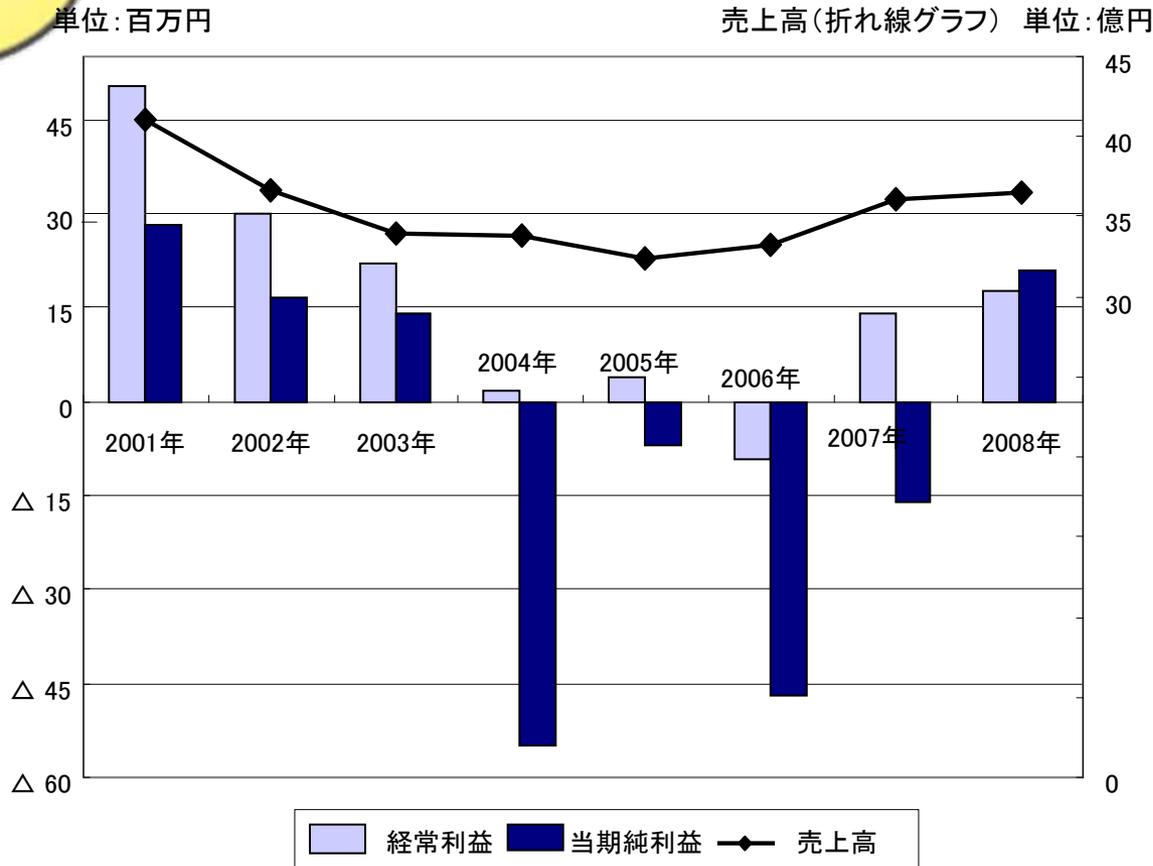
第2四半期累計

(単位:百万円)

	前回 発表	今回 修正	増減	増減率	通期
売上高	1,700	1,757	+57	3.4%	3,700
営業利益	75	111	+36	48.0%	175
経常利益	75	116	+41	54.7%	175
当期利益	110	140	+30	27.3%	210

通期業績の推移と見通し

通期業績推移実績と見通し



- **売上高**
 FY05をボトムとしてFY02の過去最高超えを目指す
- **経常利益**
 FY06の赤字をボトムに回復
- **当期純利益**
 損失と繰延税金資産の計上/取り崩しが要因で大きく変動
- **前期からの回復**
 基調は鮮明

会社方針と戦略

FY2008方針

- ①セキュリティ商品事業による収益基盤強化
- ②サービス収益(コンサルティング、保守、技術サービス)増加による、利益構造の転換

市場規模予測

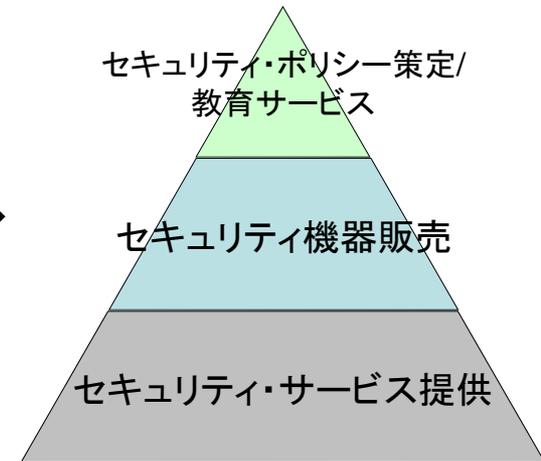
- セキュリティ市場全体は、今後3年間で56%成長すると予想されている
- セキュリティ・ポリシー策定等の上流過程でのサービスは市場規模こそ小さいが、伸びは101%と大きい
- 当社の主力である機器販売は安定成長を続ける
- 近い将来にはセキュリティ・サービスが最大規模となる

(単位: 億円)

	FY2008	FY2011	伸率
セキュリティ・ポリシー策定/教育	253	510	101%
セキュリティ機器販売	3,237	4,364	35%
セキュリティ・サービス	1,632	3,121	91%
計	5,122	7,995	56%



近い将来のイメージ



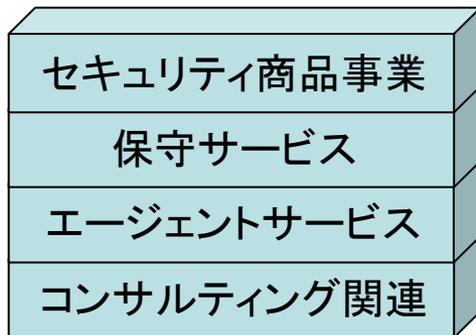
「富士キメラ総研2007ネットワークセキュリティ調査総覧」より抜粋加工

アズジェントの許可なく複製を禁ず

得意分野への集中

FY2007の事業分野

- ・コア事業の業績は回復基調
- ・SIP関連事業の撤退・縮小
- ・海外子会社の清算

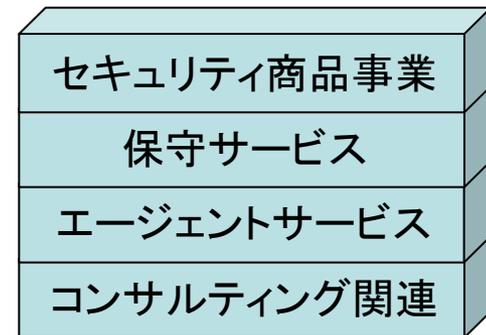


コア事業



FY2008の事業分野

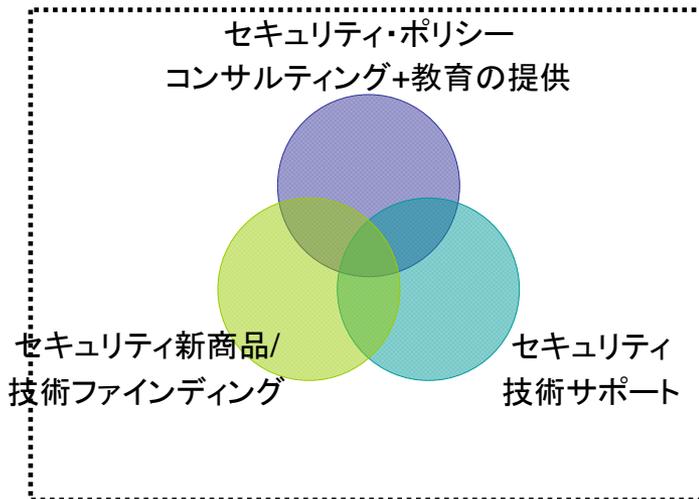
- ・当社の強みを生かしたコア事業に集中



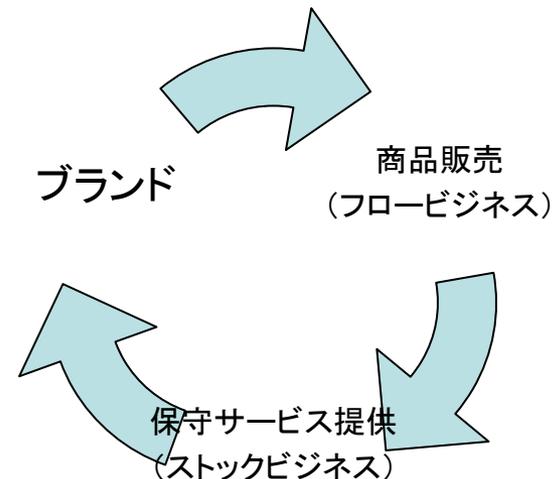
Asgentのブランド

- 販売代理店からの期待
セキュリティ分野で新しい商品を紹介することが出来るノウハウと技術
- 販売代理店からの信頼
セキュリティの上位過程であるセキュリティ・ポリシーコンサルティングを手がける会社として、また、確実な技術サポートを行う会社として、市場から信頼を得ている

確立されたブランド



ブランドを背景にしたビジネス展開



【ポイント ①】

セキュリティ商品事業による
収益基盤強化

個別方策

- Nokia+Checkpoint商流の更なる再編成
- Nokia社およびCheckpoint社との関係強化
- 首都圏/大阪以外への地域展開と新規代理店の開拓
- 新規商品 Shadow Protect(データバックアップ)

UTM-1アプライアンス、Mail-Secure(スパム対策)

- 新セキュリティ商品の発掘プロジェクトとリリース

UPDATE

Nokia社、CheckPoint社以外の商品の選別

→新商品のマーケティング／販売方法のブラッシュアップ

【ポイント ②】

サービス収益(コンサルティング、
保守、技術サービス)増加による、
利益構造の転換

Topics

Panasonicグループへの
コンサルテーション、商品導入等(※)



M@gicPolicy関連

- ・ISMS、Pマーク認証取得支援
- ・STSMS 認証取得支援
- ・BCMS 認証取得支援
- ・ポリシー策定、リスクアセスメント支援
- ・現状分析、診断、外部監査サービス
- ・ペネトレーションテストサービス

- ・有償トレーニング(RAコース等)
- ・企業インハウスセミナー
- ・啓蒙活動(無料セミナー、デモ等)
- ・情報収集活動(JIPDEC、JASA、BCI等)

高付加価値サービスの
提供

コンサルティング

セミナー
トレーニング

※2008年7月10日付
日経産業新聞 第6面

UPDATE

Panasonicグループ等へ
CoSMOの英語版の海外展開開始、
中国語版においては適宜準備開始予定

M@gicPolicy

M@gicPolicy
CoSMO

情報セキュリティマネジメントシステム
(ISMS)構築・運用管理ツール

- ・コンサルティングツールや自社のリスク管理用ツールとして採用
- ・大手企業グループでの採用

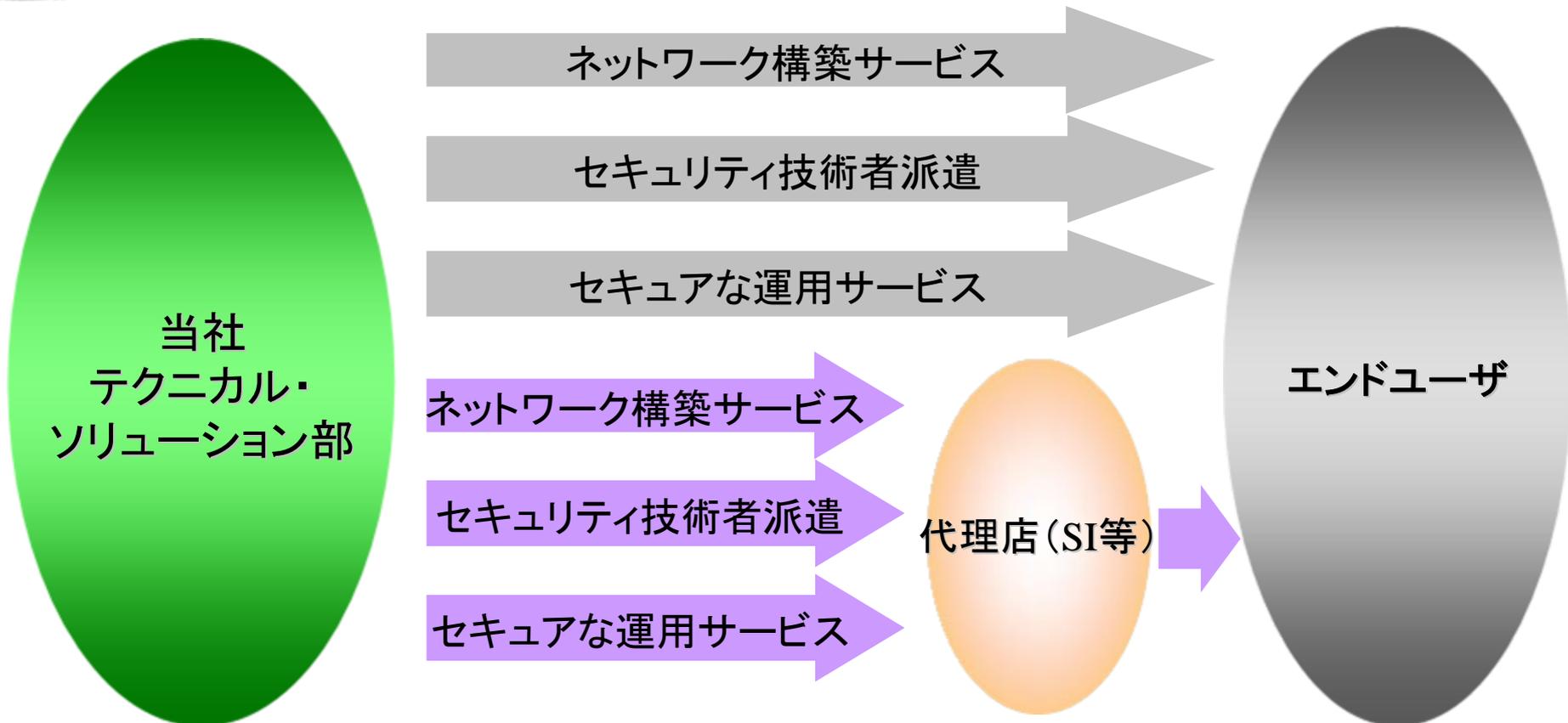
M@gicPolicy
QUICK

コンプライアンスのための自己点検改善ツール

- ・汎用性の向上で、内部統制や環境分野など多彩なコンプライアンスに対応
- ・大手企業(金融、電力、流通分野等)で採用

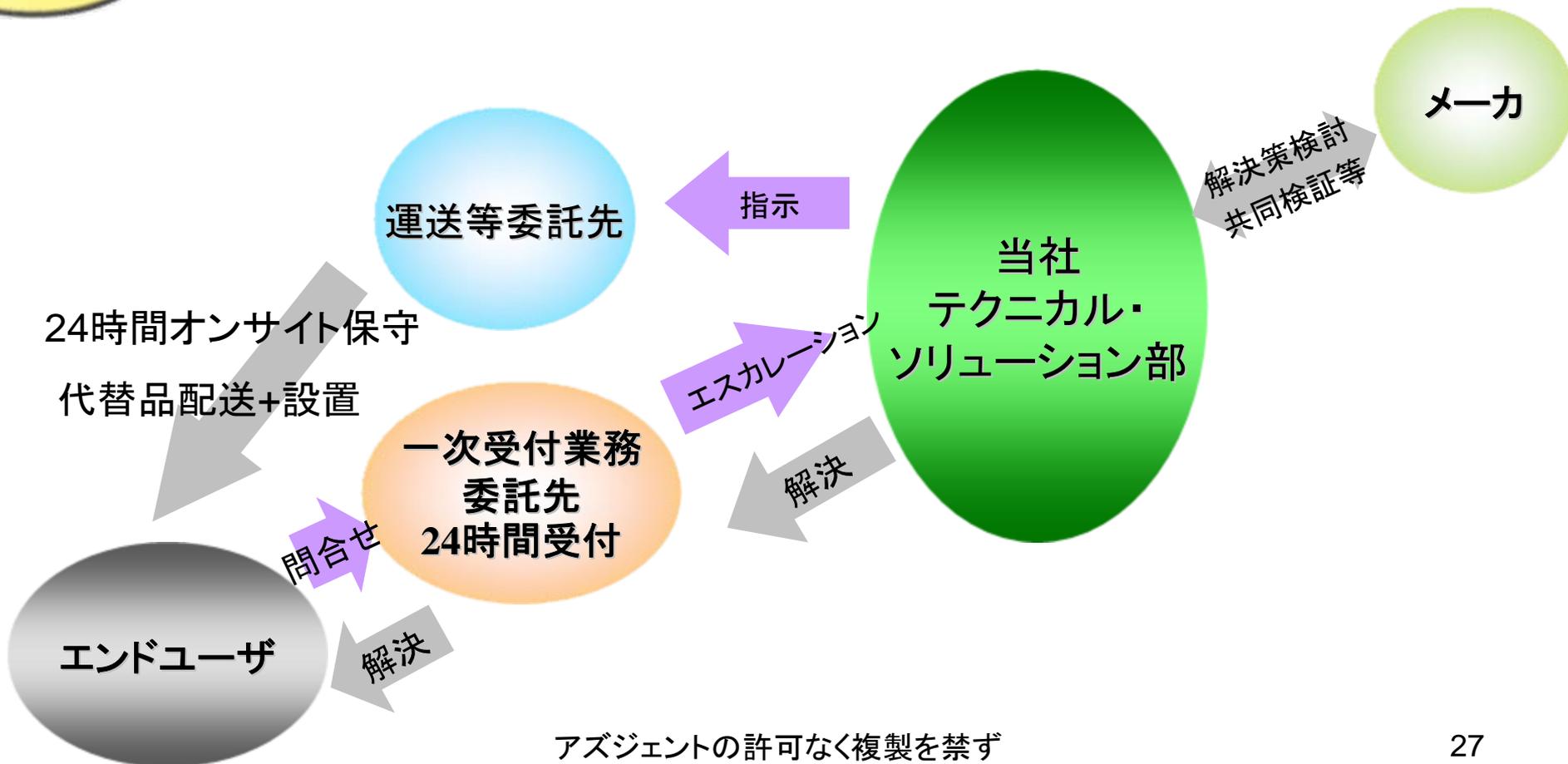
技術サービス

セキュリティ関連技術サービスを提供することにより、当社付加価値の更なる向上と増収を図る



保守スキーム

セキュリティ関連商品の24時間/365日保守サービス(オンサイト、ヘルプデスク)の品質の更なる向上により、契約更新率の向上を狙う





Asgent



本資料に関するお問い合わせ

株式会社アズジェント

経営企画本部

TEL 03-5643-2581

E-mail info@asgent.co.jp